



すみた

「気持ちいいよ、どうもありがとね」

11/5 有住小児童とお年寄りとの交流会

有住小2年生の児童が、下有住のデイサービスセンター「とだて」を訪問し、利用者の皆さんと交流を深めました。

施設では、劇の披露や、じゃんけんゲームなどを行ったほか、児童が肩もみをしてあげると、利用者の皆さんは「うれしくて涙が出そうです」と大変喜んでいました。



11月の主な内容

- P 2 山梨県丹波山村と災害応援協定締結
- P 4 住田高校、その魅力
- P 6 平成25年度住田町まちづくり大会
- P 8 第29回東北中学校駅伝競走大会結果
- P10 まちの話題『SUMITA うおっちゃんぐ』
- P12 マナビィ通信
- P13 地域住民活動情報
- P14 お知らせ ほか

災害時における相互の支援を約束

山梨県丹波山村と協定締結

たばやま



▲調印を終え、笑顔で握手を交わす多田町長（右）と岡部政幸丹波山村長（左）

10月22日、本町と山梨県丹波山村の「災害時における相互支援に関する協定調印式」が同村中央公民館で行われました。

この協定は、災害発生時に生活物資の提供や職員の派遣など相互で応援体制をとることを確認するために締結したもので、本町単独の協定としては、昨年7月の愛知県幸田町に次ぐ、2例目となりました。

■経済、文化面での交流も誓った調印式

調印式には、両町村長や協議議長、来賓ら10人が出席。協定締結に至った概要説明や出席者の紹介などが行われたあと、多田町長と岡部政幸丹波山村長が町産材で制作された調印書にサインし、固い握手を交わしました。

調印を終え、岡部村長は

「協定をきっかけに交流を活発にし、地域の活性化につなげたい」とあいさつ。

また、多田町長は「災害時だけに限らず交流を続けていきたい」と述べました。

■本町への支援は本年度3年連続

今回、協定を締結した丹波山村は山梨県の東北部に位置し、村の97%を山林が占める、人口620人余りの村です。

同村では、平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、被災地支援を検討していたところ、アジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動に取り組む公益財団法人オイスカから、本町の後方支援の取り組みを聞き、支援先を住田町として決定しました。

これまでに同村からは、本町への寄付金や仮設住宅へのジャガイモの寄贈など、

毎年、継続した支援が行われています。



▲本年9月のジャガイモ寄贈の様子

この支援がきっかけとなり、大規模災害時における遠隔地との連携の必要性を感じていた両町村間において、災害時の協力体制構築のための協定が今回締結されました。

次頁では、協定で確認された内容および山梨県丹波山村について、ご紹介いたします。

災害時における相互応援に関する協定の主な内容

今回、本町と丹波山村の間で結ばれた「災害時における相互応援に関する協定」では、次の内容が確認されました。

- ・食料、飲料および生活必需物資ならびにこれらの供給に必要な資機材の提供
- ・災害応急活動に必要な車両その他の提供
- ・被災者および被災児童生徒そのほかの一時受け入れ
- ・被災者の医療、消毒、施設の応急復旧その他に必要な資機材および物資の提供
- ・災害応急活動に必要な職員などの派遣応援
- ・被災者および被災児童生徒そのほかの一時受け入れ



山梨とのつながり、ここにも。

協定を結んだ丹波山村のほかにも、本年、甲府市の山宮保育園からは、支援金と園児たちが書いた励ましの手紙が、本町に届けられました。

今回、丹波山村を訪問した多田町長が、そのお礼に山宮保育園を訪問したところ、快い歓迎とともに絵やチューリップの球根などが本町の園児たちに贈られました。

いただいた絵は世田米保育園に飾られています。（写真＝世田米保育園）

山梨県丹波山村の紹介



ささら獅子
7月の祇園まつりに五穀豊穡を祈願して奉納される獅子舞。山梨県の無形民俗文化財に指定されています。



●交通アクセス

- JR青梅線奥多摩駅から西東京バスで約60分
- 中央自動車道八王子ICから車で約90分

●人口と世帯数（平成25年11月1日現在）

- ・総人口…625人（男：308人 女：317人）
- ・世帯数…311世帯

●特産品

- ・わさび、マイタケ、こんにゃくなど
- ・鹿肉の加工食品（カレー、ソーセージなど）

●名所・観光スポット

- ・丹波溪谷
- ・丹波川 など

●主な催事

- ・お松引き（1月上旬）
- ・夏まつり丹波（7月下旬）



▲家族連れが多く訪れる丹波川

●概要

丹波山村は、山梨県の東北部に位置し、東は東京都奥多摩町、西は甲州市、南は小管村、北は埼玉県秩父市に接する、面積は101.55平方キロメートルほどの山村です。村の東西には多摩川の源流・丹波川が流れています。

雲取山、飛竜山、大菩薩嶺などの険しい山々に囲まれ、全体の97%は山林、そのうち約70%は東京都の水源かん養林として守られ、深い緑と清らかな溪流が四季折々美しい風景を楽しませてくれます。



住田高校、その魅力

～ 自主・創造・至誠 ～

住田高校はこれまで、町内外に多くの有能な人材を輩出。また、町内唯一の高校として、地域住民から愛され、地域に根差し、地域とともに育まれてきました。

住田高校は、昭和23年に当時の盛農業高校定時制課程世田米分校（同上有住分校）として発足。昭和39年に高田高校全日制課程住田分校として、昭和45年から現在の住田高校に名称が引き継がれ、今日までに数多くの卒業生を送りだしました。

現在、全校生徒は90人で生徒一人ひとりに対するきめ細やかな指導体制が敷かれ、生徒の進路決定率が100%を達成するなど、小規模校ならではの特色を生かした学校づくりを進めています。

また、オーストラリアへの海外派遣、町内保育園の行事へのボランティア参加、地域文化選択講座など、他校ではなかなか味わうことができない、魅力あふれるさまざまな教育活動が展開されています。

なお、平成25年度からは、町でも学校給食の無償提供や通学費の補助などの支援を行っています。

ここでは、地域に根差す高校、住田高校の魅力をつつぷりと紹介します

設置学科 職員と生徒一人ひとりが向き合える教育環境。進路決定率100%を達成。

課程	学科名	設置年度	平成25年度生徒数 (H25.11.1現在)			
			1年	2年	3年	全校生徒
全日制	普通科	昭和45年度	34人	30人	26人	90人

部活動 仲間と泣き笑おう。卒業後の進路 将来やりたいことが必ず見つかる。

クラブ	在籍数
◇硬式野球部	17人
◇アーチェリー部	9人
◇バレーボール部	2人
◇バスケットボール部	10人
◇ソフトテニス部	10人
◇陸上競技部	14人
◇吹奏楽部	14人
◇音楽部	5人
◇パソコン部	9人

進路	24年3月卒業生 (48人)	25年3月卒業生 (68人)	卒業生の主な進路 (過去3年間)
進学	28人	42人	大学…岩手大学 岩手県立大学 東北学院大学 短期大学…県立盛岡短期大学 山形県立米沢女子短期大学 専門学校…県立宮古高等看護学院 盛岡医療福祉専門学校 盛岡ヘアメイク専門学校 など
就職	20人	26人	就職 (管内) ㈱アマタケ、さいとう製菓㈱、住田フーズ㈱ (県内) SMC㈱遠野工場 (県外) ヘライ建設 (公務員) 陸上自衛隊 など

住高の特色ある活動を紹介します

進路に応じた教育

住田高校では、2年生から選択科目により、進学・就職それぞれに対応したクラス編成を行い、生徒の将来の目標に合わせた教育を提供しています。

進学では、本年度入学生から、数Ⅲ、物理などが履修できるようになり、理系国公立大学への進学対応も可能になりました。

また、就職では商業や情報科目などを履修しながら、就職に役立つさまざまな資格取得に挑戦することができ、生徒一人ひとりの目標に対する指導が、よりきめ細やかなものとなりました。



給食の無償提供



他の高校では、昼食は持参か売店などで購入しますが、住田高校では希望する生徒に対し、学校給食を無償で提供しています。

味も大変好評で、成長期の生徒たちにバランスの良い食事が提供されています。

活躍目立つ部活動

住田高校が全国に誇る部活動として「アーチェリー部」があります。本年もインターハイ、国民体育大会にそれぞれ1名ずつ出場するなど、活躍を見せています。このほかにも、東北大会

地域への深い理解

例年、町内の中学生を交えながら、地域の文化や産業、伝統技術を学ぶ「地域文化選択講座」を行っています。

本年は、林業体験や華道郷土料理など7講座が行われ、地域への理解を深める貴重な体験の場となっています。




私には、通訳になりたいという夢があります。この夢は、1年生の時に体験した海外派遣のおかげで抱くことができました。そこから、小規模校ならではのきめ細かい指導のおかげで、東北学院大学文学部英文学科への進学も決まり、夢の実現へ一歩近づくことができました。地域との強いつながりに魅力を感じて入学した住高。熱心な先生方や、勉強や部活に集中できる教育環境。感謝でいっぱいです。

高橋 恵梨華さん
(3年・世田米駅)

住高生のホンネ 聞きました



通学環境などを考え、地元の高校である住高を選びました。学校では、優しい先輩方の指導を受けながら、生徒会活動などを頑張っています。将来は、情報系の仕事への就職を目指していますが、先生方の指導のおかげで、希望の進路に着実に向かえていることが実感できます。住高は生徒が少ないとよく言われますが、その分、仲間や先生方とのつながりを強く感じることができる、いい学校だと思います。

佐々木 一哉さん
(1年・清水沢)



平成25年度住田町まちづくり大会

～健康で安全安心のまち・幸せを実感できるまちづくりを目指して～

11月17日、町農林会館大ホールで町まちづくり大会が行われ、講演や事例発表、教育やスポーツ、公民館活動など各分野での功労者の表彰が行われました。

この大会は、「健康で安全安心のまち・幸せを実感できるまちづくり」を目指す契機にと毎年開催されているもので、町民や関係者約300人が参加しました。大会では、町民憲章唱和に続いて、多田町長が「町民と関係者が協力し合いながら、町づくりの原点である住民協働をより一層進めていきたい」とあいさつをしました。

続けて行われた表彰式では、健康づくりやスポーツ、交通安全・防犯など各分野での功績や尽力した方々が紹介され、それぞれ代表者に賞状が手渡されました。



▲各分野で活躍した方を表彰

地域活動を紹介する事例発表では、「すみた森の案内人の会」、「少年補導員」、「ヘルサポートの会運動教室」から活動の様子などが報告されました。

最後に、県立大船渡病院の伊藤達朗院長による「これからの地域医療」と題した特別講演が行われました。



▲講演を行った伊藤院長

受賞された方々の紹介

【町健康づくり推進協議会会長表彰】

▼8020実践者

荻原秀男（川向）、菅崎ツネ（野形）、大山キクエ（野形）、大和田正一郎（窪田）、松田タカノ（西風）、菊田明美（新切）、水野栄助（二反田）、水野キミ子（葉山）、佐熊甲子（八日町）、深野ヨシ子（深渡）

【町生涯学習推進本部長表彰】

▼第43回

花いっぱいコンクール
最優秀賞：恵山自治公民館
優秀賞：坂本自治公民館、下在公民館（山和寿クラブ）、川口自治公民館（川口）、世田米小学校、有住小学校、佐藤一博（暇畑）、千葉喜一郎（城内）
努力賞：中沢自治公民館（上根・上日向班、日向班）、下在公民館（田谷地区婦人部）、五葉地区公民館（五葉老人クラブ）、曙クラブ（天崎）、川口自治公民館（竹ノ原）、世田米保育園、佐藤政子（暇畑）

（表彰者紹介の続き）

【町教育振興運動推進委員会委員長表彰】

世田米中学校特設木工部、世田米中学校総合文化部

【町生涯スポーツ推進協議会会長表彰】

▼第12回

すみたスポーツラリー
優勝：愛宕公民館
準優勝：下在公民館
第3位：曙公民館

▼功労賞

故・熊谷光一（町陸上競技協会・天嶽）、佐藤隆一（町ゲートボール協会・田谷）

▼栄光賞

陸上：伊藤健太（有小6年）、菊池光祐（有中3年）、齊藤海（同3年）、紺野颯志（同3年）、今野萌香（同2年）、佐藤凌雅（同1年）、有住中学校男子駅伝部、吉田陸（住高1年）、紺野達夢（大高3年）、紺野彩希（釜石高2年）、今野杏菜（北上翔南高3年）

空手：実吉星哉（竹駒小3年）、菊池唯（世小3年）、畑中遥音（遠野北小5年）、大和田奈々海（有小6年）、松田ほか・高橋春奈・吉田名歩（世中団体）、佐々

木蒼也（大高2年）

アーチエリート：皆川優実（住高3年）、村上悠梨（同2年）

Kボール：紺野卓（世中3年）
バレエ：菅野楓（高田高3年）、町バレエボール協会

ソフトテニス：菊池花歩（高田高2年）、千葉美穂（同2年）、千葉理瑠（同2年）、三浦華蓮・大和田咲（町ソフトテニス協会）

水泳：多田まり子（清水沢）、及川良一（小松）、水野イサヲ（上有住中井）、日野元基（中上）

野球：大股体育協会野球部

【町児童生徒木工工作フェスティバル教育長表彰】

最優秀賞：畠山徳輝（世小3年）

優秀賞：小野田朝日（世小1年）、佐々木怜央（同2年）、小野田結月（同4年）、畠山美咲（同5年）、熊谷拓人（同6年）

篠原京都（有小5年）、千葉雄太・千葉あかり・佐々木妃佳里・横沢亜美・吉田千秋（世中1年）、紺野岬・吉田陸幹（同2年）、熊谷天翔（同3年）、熊谷雄大（有中3年）

【町自治公民館連絡協議会会長表彰】

紺野幹夫（元月山公民館長）、松田秀樹（前両向自治公民館長）、佐藤誠一（前八日町町内会長）、坂井清（前寒倉自治公民館長）

【町芸術文化協会会長表彰】

吉田徹郎（川向）

【町PTA連合会会長表彰】

すみた森の案内人の会（世小・有小PTA活動）、及川敏和（有小PTA活動）、高橋吉史（世中PTA活動）、多田裕一（有中PTA活動）

【町交通安全対策協議会会長表彰】

松田哲（城内）

【優良運転者】

佐々木フミ（清水沢）、松田善子（城内）

【飲酒運転追放コンクール30年間】

姥石自治公民館、恵山自治公民館、大洞自治公民館

【20年間】

五葉中自治公民館

【15年間】

小股自治公民館

【10年間】

東峰公民館

（すべて敬称略）

地域への貢献が認められ叙勲を受章



叙勲「旭日双光章」
紺野 朋夫さん
（世田米字日向）

このたび、紺野朋夫さんが叙勲「旭日双光章」を受賞しました。

紺野さんは、昭和42年に地域からの強い推薦を受け、町議選に出馬し当選。昭和62年に勇退されるまで、5期20年の永きにわたり町議会議員として町勢の発展に尽力しました。

議会においては、議長や総務常任委員長、教育厚生常任委員長などを歴任しました。

議員在職中を振り返り、「当時は、現在のように地域

の心配事の相談役などがおらず、町議会議員が何でも屋だった時代。家にもなかなか帰らず、町のため、地域のため、あちこち動き回っていました」と話していました。

また、今回の受章について、「私よりもふさわしい人が他にたくさんいる中で、受章に対し申し訳ない気持ちもあります。これまで自分を支えてくれた全ての方々に対し、感謝の気持ちを伝えたいと思います」と喜びを語っていました。

有住中男子、悔しさ残る12位

第29回東北中学校駅伝競走大会結果



▲県代表として懸命の走りを見せた選手たち

▽強豪と競り合うため 出走順を変更し臨む

11月2日、花巻市日居城野運動公園内をコースとする第29回東北中学校駅伝競走大会が行われました。大会には男女の部にそれぞれ22チームが出場し、先月11日に行われた県大会で優勝した有住中男子チームも、岩手チャンピオンとして大会に臨みましたが、東北各地の予選を勝ち抜いてきた強豪校の前に力を出し切れず12位。残念ながら上位入賞とはなりません。

11時20分。男子の部のスタートを告げる号砲が鳴り響き、全22チームが一斉に走り出しました。今回、有住中は前半から先頭に食らいつついこうと、県大会でアンカーを務めた大山一樹選手を2区に変更し、1区及川直哉主将、3区佐藤久遠選手、4区紺野太一郎選手、5区水野正太選手、6区吉田啓人選手と出走順を変更し臨みました。

レースは、昨年の全国大会で9位に入った岩沼中学校（宮城）ら強豪校が先頭集団を形成し、展開しました。有住中は、1区から第2集団に位置し、先頭集団に何とか食らいつついこうと、必死にタスキを繋ぎますが、さすがは各県の強豪が集う東北大会。他のチームもなかなか隙を見せず、6名がそれぞれ健闘したものの、結局、県大会のタイムから3秒遅れる1時間0分22秒の12位で、ゴールをしました。

レース後、アンカーを務めた吉田選手は「一人一人のスピードをもっと鍛えていかないといけない」と悔しさをにじませました。また、及川主将は本大会を通じて「他のチームに比べ、戦う気持ちで負けていた。この悔しさをバネに全国では目標の20位以内を達成したい」と全国の舞台での雪辱を誓っていました。

なお、レースは2区を終え6位だった鷹巣中学校（秋田）が、先頭を走る岩沼西中学校を3区で交わす

と、その後は一度も先頭を譲ることなく、大会新記録となる58分06秒でゴールし、優勝を果たしました。

▽いよいよ全国大会へ 頑張れ！有住中

現在、有住中は全国大会に向け、月2回の休みを挟んで、毎日練習を重ねています。千葉敏監督は「チームの状態は悪くない。今からの能力の大きな積み重ねは難しいので、いかに調子を維持できるかを考え練習している」と話していました。



▲雨天時は校舎が練習コースに

そして、いよいよ迎える全国大会は、12月15日に山口県山口市のセミナーパークを会場に行われます。

選手たちは、地域への感謝の気持ちを胸に走り、私たちが町民一丸となって、全力で応援しましょう！

FIGHT!!

全国大会は滅多に立って舞台ではないので、息子には、体調に気をつけて臨んでほしいです。本番では、チームワークの良さを生かし、7年前の先輩たちが記録した全国22位を超える活躍を期待しています。



紺野 太一郎 選手のお父さん 光男 さん (63)

息子は、素晴らしい先生や仲間、先輩方に恵まれ、いい刺激を受けながら成長してきました。大会では、雰囲気にもまれることなく、今まで練習してきたことに自信を持って、自分の走りをしてほしいです。



大山 一樹 選手のお母さん 美香 さん (50)

集落支援員「住み隊員」が着任

11月1日、町集落支援員「住み隊員」に着任した千葉義継さんに対し、多田町長より辞令書が交付されました。

集落支援員の役割をお伝えするとともに、着任した千葉さんに抱負を伺いました。

◆集落支援員の役割

集落支援員は、総務省が2008年度から取り組んでいる過疎対策の一つです。主な役割として、人口減少や高齢化が進み、コミュニティ機能の維持が困難になってきている地域を巡回し、住民との話し合いを通

じながら、地域が抱えている課題解消に向けた活動の支援に取り組みます。

◆集落支援員「住み隊員」

「住み隊員」は、本町に着任した集落支援員に対する愛称です。

現在、本町の高齢化率は39%を超え、中には50%を超えている地域もあります。これまで地域で行われていたコミュニティ活動の継続が困難、あるいは不安を抱える地域が増えてきています。

そんな状況から、地域の活性化につながる活動の推進役となる「住み隊員」に

は、大きな期待が寄せられています。

◆「住み隊員」の主な活動

「住み隊員」の主な活動内容は、▽集落巡回などによる地域の実態および課題の把握・整理▽集落で開催される会合促進の支援▽地域づくり活動への協力——などが挙げられます。

なお、今回着任した千葉さんは、上有住地区（両向恵山、坂本、八日町、天嶽地区）を担当します。

地域を共に盛り上げていくため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



集落支援員「住み隊員」 千葉 義継 さん (60歳) (雫石町出身)

住田は初めて来たので、地域のことまだまだわからない状態ですが、これまで他の町でも地域おこしに携わってきた経験がありますので、その知識などを地域に上手く還元できればと思っています。お見かけの際は、気軽に声をお掛けください。どうぞよろしくお願いいたします。

津付ダム建設事業問題 審議は継続、来年へ持ち越しへ



▲大規模事業評価専門委員会の様子（盛岡市）

県が中止の方針を示す県営津付ダム建設事業は、10月29日と11月18日に開催された県大規模事業評価専門委員会でも継続して審議されました。

しかしながら、県側から最重要論点である治水安全度の設定根拠や、大股川流域を含む気仙川の具体的な治水対策が示されなかったため、来年1月予定の会議に審議は持ち越されることとなりました。

県側からは、これまでの説明に加え、ダム事業の費用便益分析に関する追加資料などが提示されましたが、委員から「費用対効果の視点のみで、事業の是非を判断すべきではない」との指摘が出されました。

委員会では改めて、県に対して治水安全度設定に対する根拠、大股川を含めた気仙川全体の具体的な治水対策案を、示すよう要望しました。

中山間地域だからこそできる教育を
中高一貫教育シンポジウムを開催

11月10日、町農林会館多目的ホールを会場に中高一貫教育シンポジウムが開催され、町民や町関係者約70人が参加しました。このシンポジウムは、併設型中高一貫校の設置を目指す町と町教育委員会が、中山間地域における中等教育のあり方を探り、関係者や住民の意識啓発、共通理解を図ろうと開催したものです。



▲4名のパネリストが議論を展開

この日は、広島県北広島町の鎌田義昭芸北中学校長による中高一貫教育の取り組みに関する事例発表と、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、田代高章岩手大学教育学部教授をコーディネーターに、鎌田校長、野中孝勇西和賀町教育長、皆川繁雄住田高校PTA会長、多田茂町教育長がパネリストを務め、中山間地域の教育のあり方について議論を展開しました。

現在の中山間地域における学校教育の重点課題として、生徒数の確保があげられる中、皆川PTA会長からは「生徒数が少ないことを逆手に取り、教師による生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導が必要」と述べました。

また、鎌田校長は「子どもたちの体力、忍耐力が落ちてきている。社会で通用する生徒の育成には、心身を強くした上で、学力をつける指導が必要」と述べました。

最後に、田代教授が「中山間地域の教育には地域の支えが不可欠。地域との強いつながりを持つ魅力ある学校を目指す中で、中高一貫校という選択は有効なのは」とまとめ、議論を結びました。

下有住地区住民が一堂に会し交流図る
「下有住大収穫祭」

11月4日、下有住地区公民館（金野純一館長）主催による「下有住大収穫祭」が町生涯スポーツセンターで開催され、集まった多くの地区住民らは、年に一度の下有住のお祭りを楽しんでいました。



▲イベントに華を添えた三咲順子さん

このイベントは、下有住地区民運動会に代わる地区住民が集う機会として、3年前から開催しているものです。

この日は、収穫祭ではお馴染みとなった「長いのり巻き」作りからイベントがスタート。地区住民ら123人が、お互いに声をかけ合いながら作業に取り組み、見事70本の長いのり巻きを完成させると、笑顔で喜び合っていました。

イベントではこのほかにも、女優でピアニストの三咲順子さんによる弾き語りコンサートや、地元農産物の競り市、中上仮設住宅団地で暮らす有志によるバンド「ザ・シモアリス」の生演奏など、多彩な催しが行われ、会場内には終始、住民らの笑顔が広がっていました。



▲ずらりと並び行ったのり巻き作り



▲「竜門の滝」と作者の佐藤さん

カーバー達の熱き戦い
SUMITA CUP

11月2、3日の二日間、SUMITAチェンソーアート抽遊会（泉田晴夫会長）主催による「SUMITA CUP」が町運動公園野球場駐車場で開催され、町内外から訪れた多くの来場者らは、カーバー達の見事なチェンソーさばきに見入っていました。大会には、東北地方から選ばれた11人が参加し、選手らは「再生」をテーマに、長さ約1.5m、直径約50mmの町内産の丸太から、見事な腕前で作品を仕上げていきました。

大会の結果、優勝は山形県から参加した佐藤秀也さんの「竜門の滝」が輝きました。



▲恒例の餅まきにはご覧の人ばかり

多彩な催しで大賑わい
すみた産業まつり

10月27日、町農林会館前で第19回すみた産業まつりが開催され、会場内には新鮮な野菜や食料品、地元の民芸品などを買い求める来場者が数多く詰めかけました。

また、会場では、恒例の餅まきをはじめ、ラムネ早飲み大会や米500gを正確に計れるかを競う競技など趣向を凝らした多彩な企画が催され、来場者を楽しませていました。

なお、この日は気仙スギまつりも同時開催。林業機械の試乗体験や木工工作教室、役場新庁舎の象徴木磨きなど、林業の町にふさわしい催しも多く行われ、会場は終日大きな賑わいを見せていました。

地元食材への理解深める
小中学校で鶏肉給食会

10月29日、町内の小中学校で地元産鶏肉給食会が行われました。この日は、世田米小学校（佐々木郁男校長）5年生の教室に、食材を提供した住田フーズ（株）の吉田順生産指導課長らが訪れました。吉田課長は、「住田の豊かな空気と水で育った美味しい鶏肉です。命の大事さや暖かさを感じながら食べてほしい」とあいさつし、児童と給食を共にしながら、交流を深めました。

鶏肉を食べた小向真央さんは、「地元の鶏肉は、柔らかくてとても美味しかったです。作ってくれた方に感謝したいと思います」と笑顔で話していました。



▲美味しそうに鶏肉を食べる児童たち

活発な意見交換を展開
県議会との意見交換会

11月15日、県議会議員と県民が意見交換を行う「本音で語ろう県議会」が町農林会館多目的ホールを会場に開催され、県議会議員8名のほか、地域住民ら34人が参加しました。

はじめに、県議会活動の取り組みについて報告が行われ、その後、意見交換が行われました。

参加者からは、医療の充実や鳥獣被害対策の推進など、地域が抱える課題の解消に向け、さまざまな意見が出されたほか、県が中止の方針を示す県営津付ダムの建設を求める声が上がっていました。

座長の高橋但馬議員は、「いたただいた貴重な意見を県議会での協議に生かしたい」と話していました。



▲活発な意見が交わされた意見交換会

住田の森林のおくりもの～栗木鉄山物語～

代々、豊富な森林を活用した生活を送ってきた本町。今回、有住小5年生の児童たちが学んだ製鉄もその一つ。気仙で最も早く「たたら製鉄」が行われていたり…、かつて日本で有数の鉄の生産量を誇った栗木鉄山という製鉄所が種山にあったり…。

そんな地域の産業の歴史や文化を、学習や体験を通して理解してもらうための取り組み、それが「住田の森林のおくりもの」です。

10月、児童たちは11月の製鉄体験を前に、3人の講師から鉄について学び、知識を深めました。そしていよいよ迎えた体験本番。児童たちの製鉄は成功したのでしょうか？



▲鉄鉱石を「たたら炉」に投入中

作業の途中、ノロ出しと呼ばれる不純物を取り出す

◆**たたら製鉄を体験**
11月15日、有住小学校（佐々木英雄校長）5年生の児童たちが、内海行英世田米中学校長を講師に迎え、たたら製鉄に挑戦しました。この日使った「たたら炉」は、2日前に児童たちが耐火レンガを一つひとつ丁寧に組み上げ、およそ3時間かけて完成させたものです。児童たちは、炎が吹き上がる炉に、鉄鉱石500gと木炭1kgをおよそ10分間隔で投入していきます。



▲取り出した鋳を計量する児童たち

◆**取り出した鋳を使い 鍛冶体験に挑戦**
昨年は、鋳を取り出したところで体験は終了しましたが、今年は鋳から棒状の鉄を作る鍛冶体験にも挑戦しました。

11月25日、講師を務めた宮古市の刀匠・辻和宏さんの指導のもと、児童たちは、

作業を行いました。ドロドロと流れ出る予定だったノロは、周りのレンガに付着するなどして、残念ながら確認できませんでした。

しかしその後、製鉄作業は順調に進み、この日は計15kgの鉄鉱石と60kgの木炭を投入し、火入れからおおよそ6時間後、約5kgの鋳（製品加工前の鉄）を取り出すことに成功しました。



▲ハンマーで力いっぱい鍛えます

まずは鋳をハンマーで細かく砕く作業を行いました。その後、砕いた鋳を炉で加熱し、取り出したあと、ハンマーで叩く作業を行うと、棒状の鉄の原形である鉄塊が出来上がりました。

ここから、鉄塊を炉に出し入れして、ハンマーで叩く作業の繰り返しとなりましたが、児童たちは「イチ、ニツ、サン！」と全員でかけ声を揃え、叩き手の交代などで協力しながら作業を進めていき、3時間の作業で約20cmの鉄の棒を作ることに成功しました。

児童たちは、一連の体験を通じて、本町で受け継がれてきた製鉄の歴史や文化に触れ、地域の産業への理解を深めていきました。

地域住民活動情報

音楽の力で町おこし「音蔵」第1回総会

■SUMIITA 音楽サークル「音蔵」

11月2日、町内の有志で設立した活動団体「SUMIITA 音楽サークル」の第1回総会が、同団体の活動場所である世田米字世田米駅地内の蔵で開かれました。

この「音蔵」は、「音楽を通じて町を盛り上げたい」という志を持った8人の会員によって、本年度設立された活動団体です。

同団体では、立ち上げに合わせ、町の「みんなでき町づくり事業補助金」に応募。6月の採択後、本格始動に向けて楽器などの整備、蔵の改修などを進めてきました。

総会では、本年度の事業計画やスケジュール、予算案などについて話し合いが行われました。



▲所属バンドによる生演奏も披露

今後、同団体では「ロック」になぞらえ「6」の付く日を毎月の活動日とし、会員を募りながら、年3回（夏、クリスマス、卒業シーズン）の主催ライブの開催を企画。また、活動場所の蔵を、年代や音楽のジャンルに関係なく、音楽好きが集う世代間交流施設として活用していくことなどを確認しました。

総会を終え、会員らは音楽の力で町を盛り上げていこうと、思いを一つにしています。

宝くじ助成で 鹿踊の装束一式を新調

このほど、外館鹿踊芸能保存会（紺野幸夫会長）は、（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、鹿踊の装束一式を新調しました。

この事業は、地域社会の健全な発展を図るとともに、社会貢献広報の実施を目的に、各種コミュニティ活動を支援しているものです。

10月27日に行われた第41回文化産業まつりの郷土芸能発表では、新しい装束をさっそく身にまとい、多くの観客に威勢のいい踊りを披露しました。



▲新たな装束で踊りを披露

国税電子申告・納税システム「e-Tax」

詳しくは「e-Tax」で検索！

メリットいろいろ…

- 自宅やオフィスで申告
- 添付書類の提出省略

町が発行する「住民基本台帳カード」（手数料1,000円）と市販のICカードリーダーが必要。確定申告期間はカード発行の窓口が混み合いますので、お早めにお申し込みください

きこえと補聴器の相談

実施日 12月24日（火）・26年1月28日（火）

時間 10:00～12:00 住田町農林会館
14:00～15:00 八日町集会所

相談内容●聴力測定による医療機関及び行政への申請指導●補聴器の定期点検、無料試聴貸し出し

認定補聴器専門店

大船渡店：大船渡市盛町字町10-17

岩手リオン 0192-21-1252

補聴器センター URL http://www.iwaterion.co.jp

プロパンガス・水道・合併浄化槽

ガスで節電！ ガスで節約！

多田商店

住田町世田米字世田米駅1
☎46-2022 FAX46-2007

回一タスササキ

車のことならなんでも！

ササキ自動車工業（有）

バイク 自転車もOK

住田町世田米字赤畑57-1
☎46-2041 FAX46-3117

櫻井医院

受付時間

平日 8:30～12:00
13:30～17:00

院長 櫻井末男

住田町上有住字八日町177
☎48-2110

土曜日 8:30～12:00
（日曜日・祭日は休診）

■「アリスの不思議なクリスマス」のお知らせ

アリスの不思議な文化祭実行委員会と町観光協会の共催により、クリスマスイベントを開催します。

★日時・場所

12月22日（日） 10:00～17:00（旧下有住小学校校舎）

★内容

- 限定100名！来場者にサンタさんからの「ちょこっとプレゼント」
 - 住田のB級グルメNo.1を決定！「SUMITA食のグランプリ」
 - 100体から最終候補10体を決定！「マスコットキャラクター総選挙」
 - 冬のアリス小学校に突然現れた…、「冬のお化け屋敷」
- このほかにも多彩な催しで、皆様の来場をお待ちしています。

★問い合わせ 町観光協会 ☎46-2111 内線317



記帳・帳簿等の保存制度の対象者を拡大

平成26年1月から、事業所得などを有する白色申告の方全てが、現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象者となります。

★対象となる方

事業所得（営業・農業など）、不動産所得、山林所得が生じる業務を行う全ての方

★記帳する内容

- ・売り上げなどの収入
- ・仕入れや経費などの事項
- ・売上・仕入先などの相手方の名称

※記帳にあたっては、日々の合計金額のみをまとめて記載するなど、簡易な方法で構いません。

★帳簿などの保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴い受け取った請求書や領収書などを一定期間（7年または5年）保存する必要があります。

★問い合わせ

大船渡税務署 ☎26-3481

「新農業人フェア in いわて」の開催

新規農業参入希望者を対象に、県内の就農・就業・起業などの情報を提供する相談会を開催します。

★日時

平成26年1月11日（土）
11:00～15:00（受付10:30～）

★場所

いわて県民情報交流センター「アイーナ」8階 804会議室

★参加対象

- ・新規就農を希望している方
- ・農業体験を希望している方
- ・企業などで農業参入を希望している方 など

★相談内容

①就農地域の紹介②農業技術の習得③農地の確保④資金調達その他、就農・就業に必要な情報を提供し、個別に相談に応じます。

★入場料 無料

★申し込み・問い合わせ

県農林水産部農業普及技術課 ☎019-629-5656

年末年始のバス運行について

岩手県交通(株)では、平成25年12月30日（月）から平成26年1月3日（金）までの間、路線バスを下記の通り運行いたしますので、お間違えの無いようご利用ください。

★運行内容

- ①大船渡盛岡線 通常運行します。
- ②大股中井線
 - ・12月30日（月）は土日祝日ダイヤで運行します。
 - ・12月31日（火）から1月3日（金）までは全便運休します。
- ③陸前高田住田線 12月30日（月）から1月3日（金）までは、土日祝日ダイヤで運行します。

詳細は、岩手県交通(株)までお問い合わせください。

★問い合わせ

岩手県交通(株)大船渡営業所 ☎26-3730

福祉のしごと 地域就職フェア in 大船渡

福祉や介護の職場で働きたい方や関心がある方を対象に、地域就職フェアを開催します。

★日時

12月14日（土）13:00～16:00
（受付12:30～）

★内容

就職に役立つ面接対策講座や施設・事業所との個別面談など

★場所

大船渡市民文化会館 リアホール

★問い合わせ

県社会福祉協議会 ☎019-601-7061

年内のし尿のくみ取りはお早めに！

これから年末にかけて、くみ取りの申し込みが集中しますので、12月上旬までの早めのくみ取りにご協力ください。

★年末年始の休み

平成25年12月28日（土）～平成26年1月5日（日）

★申し込み

（街）気仙広域清掃 ☎27-9321

町職員の人事異動

【退職】（10月31日発令）

▽総務課

主任電話交換手 紺野宏美

陸上自衛隊高等工科学校 生徒募集について

陸上自衛隊高等工科学校の生徒（推薦・一般）を募集します。

★受付期間

- ①推薦 平成25年12月6日（金）まで
- ②一般 平成26年1月10日（金）まで

★応募資格

①推薦 中卒（見込み含む）以上17歳未満の男子で、成績優秀かつ生徒会活動などに顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者

②一般

中卒（見込み含む）以上17歳未満の男子

★試験日

- ①推薦 平成26年1月11日（土）～13日（月）
- ②一般
 - （一次）平成26年1月18日（土）
 - （二次）平成26年2月1日（土）～4日（火）のいずれか

★採用時期

平成26年4月上旬

★待遇

修学期間3年を経て、卒業後は陸士長として勤務となります。

★問い合わせ

自衛隊岩手地方協力本部 釜石地域事務所 ☎0193-23-7854

ヘルスアップ教室の開催

生活習慣病予防への理解を深めることを目的に教室を開催します。参加費は無料です。

★日時

- ①平成25年12月18日（水）
 - ②平成26年1月23日（木）
- どちらも14:00～16:00

★場所

町保健福祉センター

★申し込み

参加を希望する方は、実施日の2日前までに町保健福祉課にお申し込みください。

★問い合わせ

保健福祉課健康推進係 ☎46-3862（713）

農業簿記講習会の開催

農業担い手の経営管理能力の向上を目的として、農業簿記の知識を学ぶ講習会を開催します。

★日時

平成26年1月14,16,21,23,28,30日（全6回）

★場所

陸前高田市役所東棟第7会議室

★参加料 無料

★申し込み締切日

平成25年12月20日（金）

★申し込み・問い合わせ

産業振興課安全農業推進係 ☎46-3861（315）

工事などの入札結果をお知らせします

工事・業務名	契約年月日	契約額	契約業者
川向公園団地水道工事	25年10月28日	1,890,000円	(株)ヤマカ
平成25年度交通安全施設設置工事	25年10月31日	945,000円	(有)千葉組
町道世田米駅前線外路面補修工事	25年11月1日	27,300,000円	(株)佐藤渡辺岩手営業所
町道火石川向線外路面補修工事	25年11月1日	45,885,000円	(株)佐賀組

住田のすまい

住田住宅産業(株) ☎46-2465

岩手県住田町産 ありすぽーく

地産地消 生産農場

有ありす畜産

TEL0192(48)2019

R107 ありす畜産直売所 TEL0192(46)2286

COOP Iwate こんにちは！いわて生協です！

お家でお買い物 個人宅配 はじめませんか

◎重い物、かさばる物も玄関先まで配達します。

◎配達料が安くなる個配優遇制度 子育てサポート・高齢者優遇 介護者優遇・障がい者優遇があります。（240円→100円）

☎0120-263-957（通話料無料）

いわて生協せき支部 大船渡市盛町字馬場23-5

省エネ家電のことなら当店へ。お気軽にご相談ください。

地ビ DIGITAL

クマガイ電化サービス

住田町上有住字八日町82 ☎48-2255 携帯090-2845-1444

